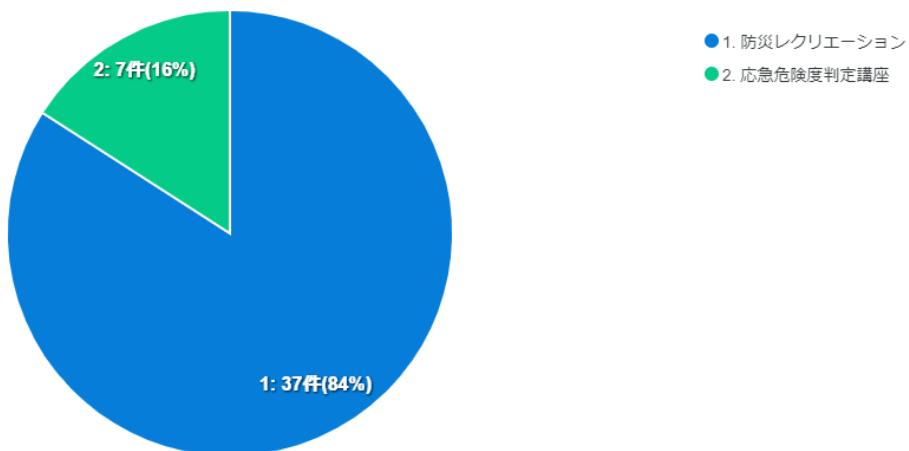
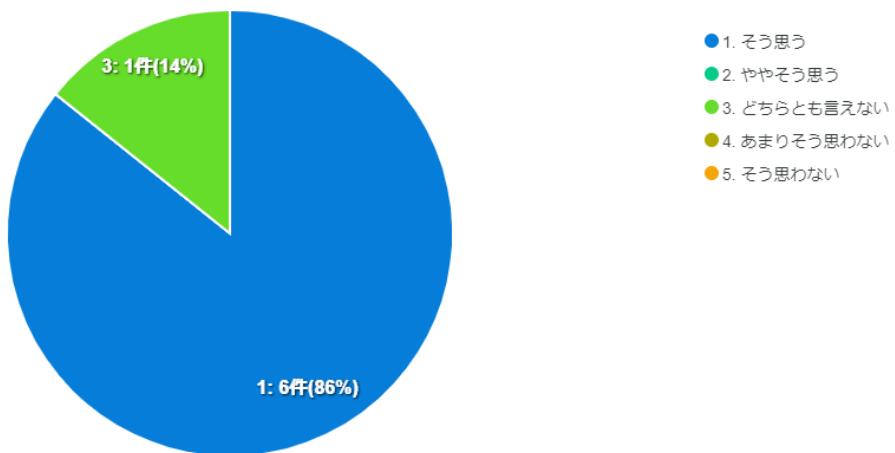


◆防災対応向上訓練(応急危険度判定講座)（一般参加者対象）

★どちらを選択されましたか？



★災害時に生かせる知識を得ることができた



◆応急危険度判定講座の良かった点、改善してほしい点 (一般参加者、市職員、他自治体職員対象)

＜講座の内容について＞

- 実際の被災現場での動きなどが理解できました。
詐欺などの悪意ある行動に気をつけたい。
- 非常に勉強になりました。生駒市の職員としても、一市民としても、知っておくべき内容だと感じました。
- 応急危険度判定は避難所宿泊訓練の間に設けていただいたので、間延びすることなく聞くことができ、実施の体験も交えていただいたので非常に有意義であった。
- 参加者は、応急危険度判定について理解できたと思う。能登半島では応急危険度判定のデータが罹災証明書の発行にも使われたようで、今度は、応急危険度判定のデータを被災者支援システムとの連接が課題

- 急性期の大切な業務であり、住民の方にどういった意味合いのものかを知っていただいたことは良かったと思います。
実際に判定用紙を見てもらったり、具体的にどんなことが記載されているかを見ていただけだと、より理解が深まると思います。
- 考え方は理解できましたが、素人判断は禁物かなとも考えます。
機会があればもう少し知識をつけたいです。常識論が通じない部分もあります。
すぐには行政の支援も期待出来ない中、避難所開設時の建物診断は難しいと考えています。暑い中寒い中で避難者は集まつてくる…気は立つてはいる中での判断はなかなか難しい。
建築関係者がたまたまいらっしゃれば別ですが…
あくまでも想像ですが…

<講座の運営について>

- 応急危険度判定については、自己判定により危険度を判定し、安全な避難行動に繋げることを目的とするならば、大人の参加者には、選択ではなく必須でもよかったのではないかでしょうか。